

宮古民報

2020・3・22
第1654号

日本共産党
宮古地区委員会
市内宮町4-6-49
電話62-5808
FAX 62-3897

しんぶん赤旗
日刊紙3497円
日曜版 930円

宮古創生へ、攻めの1年と決意

市長⇒新年度経営方針で説明

宮古市は20年度からの新たな「総合計画」を柱に東日本大震災などからの復興完遂を目標に子育て支援などのさらなる拡充を進める方針です。



公共交通網の一翼を担う三陸鉄道

子育て・教育環境も

主要な事業として産業振興では、金浜地区に企業立地を目的にした用地整備(3800万円)、森林環境譲与税を活用した森林整備に3397万円、重茂味ロード魅力発信事業(2913万円)が、計上されました。

20年度の重点政策は①持続可能な公共交通、②再生可能エネルギーによる地域内経済循環です。山本市長は、予算編成に当たり、東日本大震災からの復興完遂と2015年台風10号等の災害対策、重点政策を含む「総合計画」の推進を方針に一般会計では前年度より14億300万円少ない349億6700万円を提案、19日、全会一致で可決されました。

子育て支援の推進では昨年について国保税の子ども均等割り減免(1239万円)、無償化にもない実費徴収される私立認定子ども園等の児童の副食費給付(4151万円)、子ども食堂、親の自立支援、家庭的保育の推進など子ども・子育て基金事業(1982万円)、教育環境整備では高校・大学入学一時金等奨学資金制度(68

会計年度任用職員の採用方針は

【田中】地方公務員の臨時職員数は全国的には45万6千人から64万3千人と増えているが、市はどうか。

【市長】震災前の2010年度は326人だったが、20年度は430人であり、大震災や台風等の事業量が増え、いた仕方がないと考えている。

【田中】(背景には)臨時職員の採用方法が明確でない、期末手当が払われない、退職金は適正か。

【市長】正職員は20年度671人が、行革の目標とした適正な数(607人)にあり、妥当な状況から各2名を加えた11人で設置しました。委員会定数は産業建設常任委員会委員長に佐々木重勝議員を選出しました。

総括質問

【田中】原則1年が任期の任用職員、国は再任用の前提条件を「新たな職に改めて任用された者」としている。経験があるから(との理由で)再任用はダメとしているが。

【市長】私は、そのようには読まない。私の認識を進めたい。

【田中】市長の決意は評価できるが、活字になっているので、指摘する。

とっている。

【田中】原則1年が任期の任用職員、国は再任用の前提条件を「新たな職に改めて任用された者」としている。経験があるから(との理由で)再任用はダメとしているが。

【市長】私は、そのようには読まない。私の認識を進めたい。

【田中】市長の決意は評価できるが、活字になっているので、指摘する。



小型漁船漁業で漁に励む漁民

③ 私的な定置漁業者の利益を優先 漁業調整で不合理な判断

4、誰との利害調整なのか 問題は、こんな露骨な不公平行政を取り繕う「漁業調整の必要があるから申請を不許可とする」という弁明余地があるのか、ということ。県は、漁業調整の具体的内容は処分時には特定を欠き、いまだに明確とは言い難いのです。

以下、県の幾つかの主張を検討します。誰と誰との利害対立の調整なのかを明確に意識することが重要でそのことが漁業調整の必要があるという県判断の不合理をより鮮明にします。

県の資料によれば、岩手県沿岸には82ヶ統の定置網があります。そのうち個人経営が12ヶ統、漁業生産組合経営8ヶ統、有限会社経営6ヶ統、漁協・個人共同経営10ヶ統です。その余の46ヶ統が、海水面漁協の単独経営です。つまり、漁業調整で漁民らと対峙している業者の半数近くが純粋に

私人なのです。私的な事業者の利益確保のために、漁民らが譲らねばならない理屈はありえません。

5、定置網業者の優先権

県は「固定式刺し網漁業によるサケの採捕を解禁すれば、母川回帰前のサケがことごとく先取りされ、定置網業者との関係で著しく不公平な結果となり、漁業調整上の深刻な摩擦を生むことになる」といいます。これは「ことごとく先取りされる」という前提が虚偽ないし誇張の主張です。少なくとも何の立証もありません。仮に、漁獲量に影響があったとしても、定置網漁の許可が取り消されるものではありません。

定置網の漁獲が減る恐れがあるから、刺し網許可ができないというのは、現状の不公平をあるべき秩序と容認して、はじめて成り立つ「理屈」でしかありません。(つづく)

漁火

卒業式で歌われるヒット曲は幾つかある。現代風ではAKB48の「365日の紙飛行機」▼笑顔でいられるような願いで始まり、人生を紙飛行機に例える。それは、願いを乗せ「風の中を力の限りただ進むだけ」で「思いどおりにならない日は明日頑張ろう」▼前向きな応援歌のよう。ヒット曲のそれぞれが、みんな素敵な歌だ。今年、コロナ騒動で式は自粛モードだが歌で旅立ちということもある▼山本潤子さんの「卒業写真」も意味深い。作詞、作曲は荒井由美さん。悲しい時に開く、やさしい目をした写真の人は愛しい人で、青春そのものと表現▼「人ごみに流されて変わってゆく私を、あなたはとと きどき遠くで叱って」とある。あの頃の生き方を「あなたは忘れないで」と願う歌で、別れの曲。今、叱る人は総理かも。

